

・／人 広報



園芸市開催
もみまき順調に
ブロッコリー初出荷
キャベツ生産順調に その他

5 月号
NO.655



毎年大好評の春の園芸市は今年で45年目です。新品種も毎年どんどん出てきます。買いに来られる方々は市内のみならず近隣市町村、遠方からくる方もいるそうです。地域に愛される園芸市の50周年目指して頑張ります!

■ 園芸市開催

4月29日金～5月5日(休)の間、春の園芸市をJA伊達市グリーンセンターで開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一部縮小はしたものの、組合員の方々が仕立てた苗ものを中心に、種類が豊富なトマトを始め、カボチャ、ナス、イチゴ、多種多彩な花苗、果樹など充実した品ぞろえとなりました。

ゴールデンウィーク中は一般の方々が家庭菜園用等に購入し、JA職員が栽培に関するアドバイスなどを丁寧に説明しながら販売しました。



きれいなビオラ



どんだんなるキュウリ



定番のピーマン

■ もみまき順調に

4月下旬、市内の水稲生産者らは5月下旬の田植えに向けたもみまきが最盛期を迎えました。

水稲用の育苗箱で発芽した種もみは機械を通り、均一に覆土されます。育苗ハウスに並べられた種もみは、約1か月後に水田に植えていきます。

今年は気象条件が良く、晴天に恵まれています。ハウス内の温度が上がり、苗焼けが懸念されます。温度管理の徹底を心がけ、低コスト生産ができるように遮光ネット等を活用しましょう。

価格の下落や胴割れなど様々な課題がありますが、良質な米生産を継続し、地域ブランドの強化を目指しましょう。



発芽した種もみ

■ ブロッコリー初出荷

4月26日(火)、ハウスで栽培されたブロッコリーを今年初めて出荷しました。道内でも早く出荷するブロッコリーは20玉入れ1箱で5千円の値が付きました。

市内で生産されるブロッコリーは春先のハウス栽培から露地栽培へと移り、11月ごろまで出荷が続きます。作付面積は約80haで、昨年の出荷量は約734トンで売上は3億1千万円。昨年は干ばつで思うような生産が出来ていません。

今年は昨年の実績を上回ることを目標とし、生産量や品質の向上を目指していきましょう。



出荷目の前のブロッコリー

■ キャベツ生産順調に

4月下旬、ハウスで栽培された春キャベツの出荷が始まりました。道内で最も早く出荷されるという伊達のキャベツは市場に出回ることが少なく地元で販売されています。数が少ないため朝早く売り切れてしまうほど人気の高い野菜です。出荷量が多くなる6月ごろには市場に出荷されていき、10月末まで続きます。

また、出荷基準の徹底が呼びかけられています。規格外やA品、B品、定められたキロ数など注意点がありますので青果係へ確認し出荷してください。

安心安全な生産を継続していきましょう。



春キャベツハウス

■ 初出荷野菜シリーズ

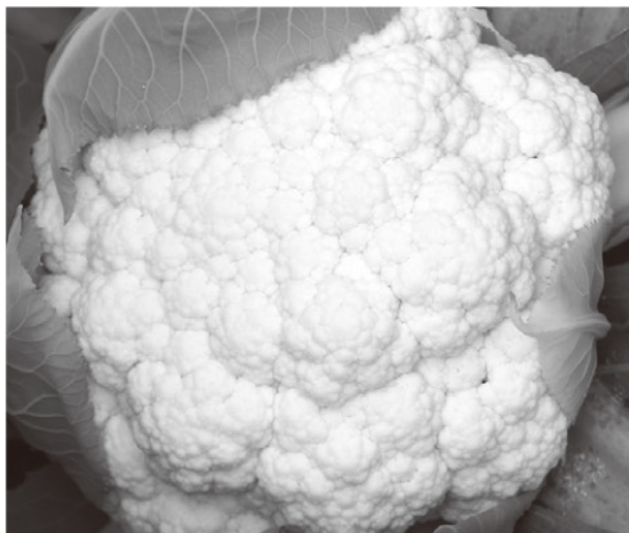
アスパラ、チンゲン菜、カリフラワー等の初出荷が4月下旬から始まりました。その他にもレタスなど葉物野菜が道内トップで出荷されています。

伊達市の気候から早出し野菜が毎年注目されており、様々な種類の野菜が徐々に販売されていきます。くみあいマーケットでは生産者直売のもぎたて市の拡充をしており、出荷する生産者数は年々増加しています。

興味のある方はくみあいマーケットへお問い合わせください。



アスパラ



カリフラワー



チンゲン菜

JAへの就職希望者100%就職 (令和3年度実績)

令和5年度 第1回学生募集

- 定員60名
- 男女共学
- 1ヵ月、全寮制
- 満24歳未満(令和4年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒業見込、高校卒及び見込
- 試験日:9月24日・25日3119日消印有効
- 学校見学もできます

お問合せ
資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京大東町 43-1
TEL 0120-918-417

【JAガレッジ】で検索

検索

生産資材課よりお知らせ

農業用ビニール・ポリ処理についてのお知らせ

下記日程にて廃プラ(塩ビ・ポリ)回収を行います。異物混入には十分注意願います。また、回収日には混雑が予想されますがご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 場 所 伊達市館山町 伊達市農協麦乾施設
2. 日 程 **6月16日(木)** 黄金・稀府・東・中央・室蘭・登別
6月17日(金) 関内・長和・有珠・室蘭・登別
3. 時 間 **9:30～11:30 13:30～15:30**

※時間厳守でお願いします。

4. 注意事項

- ◎ 必ずフレコンバックにて搬入して下さい。
- ◎ 硬質塩ビ管、発泡スチロールは受入出来ません。
- ◎ 塩ビ・ポリの分別をしっかりと行ってください。
- ◎ 検量時には必ず立会下さい。
- ◎ 委任状が必要ですので必ず印鑑をご持参ください。

<廃プラ回収料金について>

	単価 (税別)
農 業 用 ビ ニ ー ル	30円/kg
農業用ポリエチレン	15円/kg
運 賃	8円/kg



◆お問い合わせ▶グリーンセンター…TEL: 23-6115(森田・伊藤)

第74回 通常総代会のご案内

- ◎日 時 **令和4年5月24日(火)**
受 付 **9時00分～** 開 会 **9時30分～**
- ◎場 所 **だて歴史の杜カルチャーセンター**

議決権行使書面の提出については5月23日(月)17時までに総務課へ提出してください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場へ来られる際は必ずマスクの着用をお願いいたします。また体調がすぐれない方や発熱などの症状がある方、濃厚接触者の方の出席は控えてください。よろしくお願い致します。





各団体の詳しい取り組み内容については、
WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆ご当地 JA カレー 1 グランプリを開催 !!

JA グループ北海道が協賛する「あぐり王国北海道 NEXT」では、米の消費拡大を目指し、全道各地のご当地 JA カレーを集めたグランプリを初開催しました。

公募した結果、12JA の参加となり、発表順を決める緊張のくじ引き、その土地自慢の農畜産物を活用したカレーの PR、JA 職員の個性豊かな全力プレゼン、悩ましい実食審査など、見どころが満載です。

ナンバー 1 カレーはどの JA が獲得したのか!?

HBC にて 4 月 23 日(土)・30 日(土)
の 17 時から 2 週連続放送です!

HBC の無料動画配信サービス「もんすけTV」
では、5 月末まで見逃し配信も実施しますので、
ぜひご覧ください!



JA北海道信連



◆教材本贈呈事業を展開

JAバンクでは、次世代を担う子供たちへの食農教育を支援するため、農業とわたしたちの暮らしをテーマとした教材本とDVDを作成し、道内各地のJAを通じて全道の小学校・特別支援学校に毎年贈呈しています。



令和4年度においても、北海道教育委員会等のご理解、ご協力のもと、全道 1,005 校の小学5年生(約4万人)と、20 校の特別支援学校へ、教材本等の贈呈を行いました。

JA共済連北海道



◆資料請求キャンペーンを実施

JA共済ホームページの『ひと・まとめプラン』ページから掛金シミュレーションを行い、資料をご請求いただいた方の中から、抽選で240名様に素敵な賞品をプレゼントします。

キャンペーン第1期は9月30日(金)まで。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております!



ホクレン



◆第2回 北海道米そり選手権に協賛

2月11日、滝野スノーワールド(国営滝野すずらん丘陵公園)にて、冬の北海道を楽しむイベントとして開催された「米そり(米袋そり)」を使ったレースに協賛しました。

キッズ・ジュニアクラスと、一般クラスの2クラスに分かれ、約 200 名が 120m 近くあるコースでタイムを競い合いました。

優勝者には米1俵(60Kg)がプレゼントされた他、飛び賞、ベストドレッサー賞、パフォーマンス賞などもあり、会場は大いに賑わいました。



JA北海道厚生連



◆人間ドック受診のご案内

みなさんは1年に1回、健康診断を受けていますか?
道内12か所の厚生病院・クリニックで受診できます。

医療併設型という特性を活かして、がん検診を含めた総合的な疾病予防対策も積極的に展開しています。

検査の項目が充実しており、ご希望で追加できるオプション検診もたくさんありますので、詳しくは厚生連、または各病院のホームページをご覧ください。





『国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する』。この考え方を「国消国産（こくしょうこくさん）」といいます。これは、私たちの何気ない日常を彩り、生活を支えてくれる豊かな「食」を明日へつないでいくために、一人ひとりがきちんと向き合い、考えなくてはいけない重要なテーマだと、JAグループは考えています。

日本の食料自給率は依然として過去最低水準です。

もし、世界的な気候変動や人口増加による食料不足で、様々な国が輸出を制限してしまったら、私たちの食生活はどうなってしまうでしょう。日本の農業は、担い手の高齢化・減少が進み、耕されず荒れてしまった農地が増えています。農畜産物は短期間で生産を増やすことが難しく、一度荒れた農地を再び生産できる状態に戻すには、長い時間と大変な労力が必要です。

さらに、農業・農村には、洪水等の災害から街を守り、多様な生き物の住み家になるなど、食べ物を生み出すほかに多くの役割がありますが、これらの役割を維持することも難しくなってきました。

このように、いま、日本の食・農は多くの課題に直面しています。その課題を解決するためにも、「国消国産」はとても大切な考え方です。

JAグループは、皆さんの豊かな食生活を、そして、日本の農業を、持続可能でより良いものとするため、「国消国産」に取り組みます。皆さんも一緒に、国産の農畜産物を食べて、飲んで・応援して、大切な日本の食・農を、未来へつなぎませんか。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

Q JAグループ





令和4年度

▶第29回理事会…令和4年4月13日(水)

- 第 1 号 監査報告書について
- 第 2 号 決算関係書類及び部門別損益計算書について
- 第 3 号 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
- 第 4 号 剰余金処分案に関する事業分量配当金の算定基準について
- 第 5 号 労働保険事務組合の令和3年度徴収・納付状況の報告について
- 第 6 号 第74回通常総代会議案について
- 第 7 号 新型コロナウイルス感染症による総代会の進行について
- 第 8 号 第74回通常総代会における議決権行使書面の取扱いについて

▶第30回理事会…令和4年4月27日(水)

- 第 1 号 信用供与の限度額及び貸出利率の限度について
- 第 2 号 自己改革の取り組み状況の事業計画補足資料について
- 第 3 号 令和3年度決算監事監査に対する回答について
- 第 4 号 令和4年度余裕金運用について
- 第 5 号 令和4年度職員の給与昇給について
- 第 6 号 給与規定の一部改正について
- 第 7 号 令和5年度新卒採用者初任給及び要員計画について

JAの家庭雑誌

あなたの元気が
わたしの元気

家の光

お申し込み受付中

- 普通月号 …………… 税込 **629 円**
- 付録月号 (1・4・5・7・9月号) 税込 **922 円**
- 付録月号 (家計簿付12月号) …… 税込 **1,027 円**

未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.55

地区調整会議 順次開催

令和4年度及び令和5年度の着工に向けた地区調整会議を順次行っています。国営緊急農地再編整備事業「伊達地区」としての最初の工事は、今年の夏頃から大平地区で着工予定です。



現況作付調査について

地区の営農状況を確認するための「現況作付調査」を今月から実施予定です。調査は国営緊急農地再編整備事業の事業主体である国から業務を受託した民間業者により、国営事業の対象エリアでのみ行われます。直接ほ場の中には立ち入りませんが、付近を通行することがありますので、ご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内)
TEL0142-82-3201(直通)

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL0142-23-2181
E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

